

【特別決議1】連帯労組不当弾圧への反転攻勢を進める決議

書籍〈武建一が語る大資本はなぜ私たちに恐れるのか〉の販売拡大奮闘も合わせて

趣 旨

- 1：労働運動と協同組合運動それ自体を否定するに等しい「連帯カンナマ大弾圧」が2018年後期から続いてきたが、2020年に武委員長・湯川副委員長ほか全逮捕者の保釈奪還がなされると共に、連帯労組支援の輪が着実に広がり、「反転攻勢」の情勢に入って来た。
- 2：安倍長期政権終わってスガ政権に移行したが、政治の悪辣さ・低劣さはさらに進行し、圧倒的多数の人民がコロナ禍で苦しんでいるさなかに、安倍以上に労働者抑圧貧困化と大企業優遇・中小企業潰しをあからさまに掲げる政治を進めようとしている。
- 3：しかしこの事は同時に、「企業の枠や正規・非正規の枠にとらわれずに生活防衛向上のために断固闘う労働組合（＝産業別労働組合）への加入の必要性」と、「戦闘的産別労働組合と中小企業の協同組合が共同して大企業支配と闘う必要性」を多くの人々に示すものであり、つまりは「カンナマ（関生）労働運動」の絶対的な必要性と正当性がかつて無く示して人々を引き寄せる時代状況に入って来た、という事である。
- 4：そうした時代状況と軌を一にして、武委員長の著作「武建一が語る 大資本はなぜ私たちに恐れるのか」が、反ヘイトの気鋭のジャーナリスト＝安田浩一氏の協力も得て昨年発刊されたし、従来からカンナマを評価してきた研究者以外にも、反緊縮経済学の松尾匡氏の新刊「左翼の逆襲」や左翼論説家の菅孝行氏の論考の中で、カンナマ労働運動の重要さが深く論述されるなど、カンナマ労働運動支援の陣形が一段と深く広がっている。
- 5：当然ながら我々「連帯ユニオン議員ネット」は、さらに連帯ユニオン・カンナマ労働運動との共同を進め、「反転攻勢」に強く参与していく。
- 6：我々「連帯ユニオン議員ネット」の会員は書籍「武建一が語る 大資本はなぜ私たちに恐れるのか」の「30万部大增刷運動」に賛同して各人が複数購入し、友人知人や地域の人々、行政職員や議員達にも積極的に提供して啓発を進め、もって社会の認識を改善させていくものである。

以上に賛同してここに決議する。

2021年2月5日「連帯ユニオン議員ネット」第16回大会参加者一同